



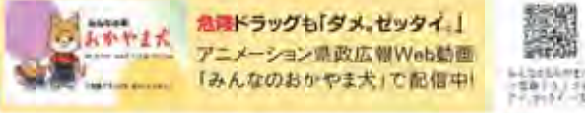


# 麻薬・覚醒剤・大麻・危険ドラッグの乱用をなくそう

『ダメ。ゼッタイ。』は薬物乱用防止の合言葉

## 薬物乱用Q&A

<p>Q.1 一度だけなら大丈夫と聞きました が、本当ですか？</p> 	<p><b>そんなことはありません。</b> 個人差はありますが、一度の乱用で快感を覚え、依存症になったり、死んでしまうこともあります。法律で禁止されていて、一度だけでも罰せられます。「一度くらいなら」という安易な気持ちを取り返しのつかないことになります。</p> 
<p>Q.2 一度依存症になったら、もう治らないのでしょうか？</p> 	<p><b>一生、薬物の誘惑と闘わないといけません。</b> 薬物は、一回の乱用が脳に記憶され、心身に影響します。薬物をやめても、依存症が治ったと判断するのは、とても難しいと言われ、後遺症が残ることがあります。また、薬物依存は強力で、誘惑と一生闘わなければなりません。</p> 
<p>Q.3 友人に薬物をすすめられたら、 どう対応すればいいですか？</p>	<p><b>きっぱり「イヤだ!」と断りましょう。</b> 「友達に嫌われるから」と思っても、はっきり「No」と断るべきです。友達からどう思われても、自分の身体、自分の一生を大切にしましょう。少しでも危ないと思ったら、「はっきり断る」「逃げる」勇気を持ちましょう。</p> 
<p>Q.4 「危険ドラッグ」ってどんなもの？</p> 	<p><b>危険ドラッグは大変危険です!</b> 危険ドラッグは、麻薬の成分や身体に有害な成分を含むものが多く、非常に危険です。実際に健康被害が発生しており、死亡例も報告されています。また、幻覚や意識障害による事故や犯罪を引き起こす恐れもあります。 <b>絶対に使用しないでください。</b></p> 

## 早目に相談・早目に解決

- 岡山県覚醒剤等薬物乱用対策推進本部  
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6  
(岡山県保健福祉部近衛安全課内)  
Tel (086) 226-7341
- 覚醒剤110番  
〒700-0824 岡山市北区内山下2-4-6  
(岡山県警本部近衛南検査官事務所一階)  
Tel (086) 233-7887
- 厚生労働省中国四国厚生局麻薬取締部  
〒730-0012 広島市中区上八丁地6-30  
広島会館庁舎4号館15階  
「麻薬・覚醒剤相談専用電話」  
Tel (082) 228-8974
- 岡山県精神保健福祉センター  
〒703-8278 岡山市中区古京町1-1-10(1)  
1心の気風相談  
Tel (086) 272-8839
- 岡山市こころの健康センター  
〒700-6548 岡山市北区豊田町1-1-1  
Tel (086) 803-1274
- お近くの保健所でも相談に  
応じています。



発行年月 | 平成27年9月

# 薬物乱用はダメ。ゼッタイ。



▲岡山県立津山工業高等学校 3年 村上紗雪さんの作品



岡山県





# 薬物乱用の現状

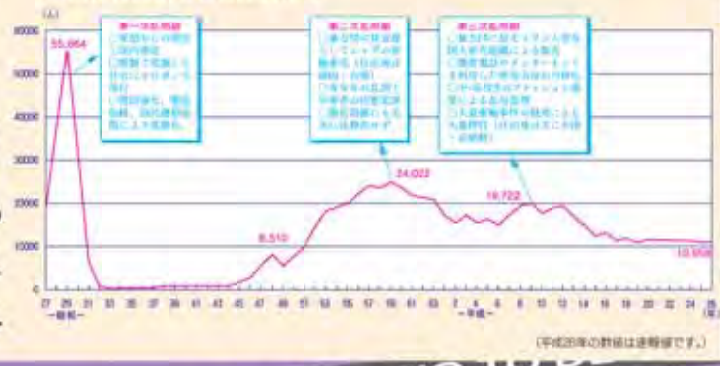
第三次覚醒剤乱用期といわれるなか、平成26年中の全国の覚醒剤事犯は、検挙者数は10,958人、押収量は487.5kgであり、依然として高い水準で推移しています。岡山県においても、平成26年中の覚醒剤事犯での検挙者数は117人、押収量は140.6gと、依然として高い水準です。

また、最近では、若年者による大麻等の乱用に加えて、「危険ドラッグ」の乱用が拡大しており、大きな社会問題となっています。

県内の主な薬物事犯の検挙者(人)

	覚醒剤	大麻
平成22年	129	37
平成23年	126	33
平成24年	134	31
平成25年	83	45
平成26年	117	47

全国の覚醒剤事犯検挙の推移



## 主な乱用薬物

覚醒剤	気分の高揚や多幸感を得ることを目的に、注射、液体の飲用、又は加熱によるガス吸引により乱用されている。乱用薬物の中でも特に依存性が強く、幻覚や幻想が現れ、中毒性精神病になりやすい。大量に摂取すると、急性中毒で死に至ることもある。また、使用をやめても再燃（フラッシュバック）することがある。
大麻（マリファナ）	大麻草の葉を乾燥させたものや樹脂で固めたもので、幻覚や多幸感を得ることを目的に乱用されている。乱用すると、知覚を変化させ、パニックを引き起こすこともある。乱用を続けると、学習能力の低下、記憶障害、人格変化を起こす。
MDMA	化学的に合成された麻薬で、カラフルに着色され、文字や絵柄の刻印が入った錠剤の形で密売されている。覚醒剤と幻覚剤の両方の作用を持ち、乱用すると混乱、聴覚障害、不安感等が生じ、何週間も持続することがある。大量に摂取すると高体温になり死に至ることがある。
向精神薬（睡眠薬、抗不安薬など）	医師が治療のため処方し、指示通り服用することは乱用に該当しないが、一時的な快感を求めて、指示された用法・用量を守らずに服用すると薬物乱用になる。一定量以上服用したり、アルコールと一緒に服用すると、昏睡状態や死を招くことがある。
危険ドラッグ	「脱法ドラッグ」、「合法ハーブ」などと称して、多幸感や快感を高めたり、幻覚作用などを得るものとして販売されている。「脱法ドラッグ」、「合法ハーブ」などと称されている製品であっても、身体に有害な成分を含むものが多く、意識障害などの健康被害や異常行動を引き起こすことがある。死亡例も報告されており、大変危険である。

### 薬物乱用への誘い言葉

- みんなやっているよ
- お金はいらさないよ
- やせられるよ
- 肌がきれいになるよ
- すっきりするよ
- いつでもやめられるから
- ちょっとだけ試してみない
- 1回だけなら平気さ
- 心配がとれて勉強ができるよ
- とりあえず稼がってよ



## 薬物乱用のきつかけ

同級生や身近な人々に勧められたり、海外旅行先で遊び半分に使用、また偶然行ったパーティーで使用したり、誘いの言葉に乗せられたり…。好奇心や仲間意識から安易な気持ちで薬物依存に染まってしまう。つい乗せられないように勇気を持って断ることが大切です。



- ※薬物は別の呼び名(隠語)で呼ばれている場合があります
- 覚醒剤……スピード、エス、シャブ
  - MDMA……エクスタシー
  - コカイン……コーク、クラック
  - 危険ドラッグ……合法ハーブ、お音、アロマ
  - LSD……アシッド
  - 大麻……チョコ、ハッピー、ハッシュ
  - シンナー……アンパン



## 乱用される薬物は、いずれも依存性があります。

薬物を使用すると自力ではなかなかやめられず、何度も繰り返すことになります。

